



市議会だより

◆発行：豊前市議会 ◆編集：編集委員会 ◆印刷：(有)八屋印刷



山田小学校・千束小学校 3年生の議場見学

2007

No. 56

主な内容

- 3月定例会 2P
- 主な議案の概要 .. 4P
- 一般質問 7P

議会へのご意見を
お寄せ下さい。
議会だより編集委員会

豊前市大字吉木955
TEL:82-1111 内線1311
<http://www.city.buzen.fukuoka.jp>



3月 定例会議案審議結果

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決の結果
議案第1号	豊前市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	—	全会一致で可決
議案第2号	豊前市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	—	全会一致で可決
議案第3号	豊前市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	全会一致で可決
議案第4号	豊前市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	全会一致で可決
議案第5号	豊前市功労者表彰条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第6号	豊前市長等政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第7号	豊前市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第8号	豊前市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第9号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第10号	豊前市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第11号	豊前市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	賛成多数で可決 13対1
議案第12号	豊前市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第13号	豊前市特別職退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第14号	豊前市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第15号	豊前市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第16号	すこやか赤ちゃん出産祝金条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致で可決
議案第17号	豊前市敬老祝金条例の制定について	文教厚生	賛成多数で可決 12対2
議案第18号	豊前市副市長定数条例の制定について	総務	全会一致で可決
議案第19号	辺地総合整備計画の変更について	総務	全会一致で可決
議案第20号	字の区域の設定について	総務	全会一致で可決
議案第21号	豊前市道路線の認定及び変更について	産業建設	全会一致で可決
議案第22号	福岡県自治振興組合を組織する地方公共団体の数の増減について	—	全会一致で可決
議案第23号	福岡県自治振興組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第24号	福岡県市町村災害共済基金組合を組織する地方公共団体の数の増減について	—	全会一致で可決

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決の結果
議案第25号	福岡県市町村災害共済基金組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第26号	京築広域市町村圏事務組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第27号	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第28号	上毛町外一市一町矢方池土木組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第29号	豊前市外二町財産組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第30号	上毛町外一市財産組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第31号	豊前広域環境施設組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第32号	豊前市外二町清掃施設組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第33号	吉富町外一市中学校組合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第34号	福岡県介護保険広域連合規約の変更について	—	全会一致で可決
議案第35号	福岡県後期高齢者医療広域連合の設置について	文教厚生	賛成多数で可決 13対1
議案第36号	平成18年度豊前市一般会計補正予算（第3号）	全委員会	全会一致で可決
議案第37号	平成18年度豊前市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	全会一致で可決
議案第38号	平成18年度豊前市バス事業特別会計補正予算（第1号）	総務	全会一致で可決
議案第39号	平成18年度豊前市水道事業会計補正予算（第2号）	産業建設	全会一致で可決
議案第40号	平成19年度豊前市一般会計予算	全委員会	賛成多数で可決 13対1
議案第41号	平成19年度豊前市国民健康保険事業特別会計予算	文教厚生	全会一致で可決
議案第42号	平成19年度豊前市老人保健特別会計予算	文教厚生	全会一致で可決
議案第43号	平成19年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	総務	全会一致で可決
議案第44号	平成19年度豊前市農業集落排水施設事業特別会計予算	産業建設	全会一致で可決
議案第45号	平成19年度豊前市公共下水道事業特別会計予算	産業建設	賛成多数で可決 13対1
議案第46号	平成19年度豊前市公共用地先行取得事業特別会計予算	総務	全会一致で可決
議案第47号	平成19年度豊前市営駐車場事業特別会計予算	総務	全会一致で可決
議案第48号	平成19年度豊前市バス事業特別会計予算	総務	全会一致で可決
議案第49号	平成19年度豊前市水道事業会計予算	産業建設	賛成多数で可決 13対1
議案第50号	平成19年度豊前市東部地区工業用水道事業会計予算	産業建設	全会一致で可決
議案第51号	豊前市学習等供用施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致で可決
議案第52号	豊前市・吉富町合併協議会の設置について	—	賛成多数で可決 13対1
議案第53号	平成19年度豊前市一般会計補正予算（第1号）	—	賛成多数で可決 13対1

議案

53件 を可決しました

— おもな議案の概要 —



平成19年第1回（3月）定例会は、3月6日から3月20日までの15日間の会期で開催されました。

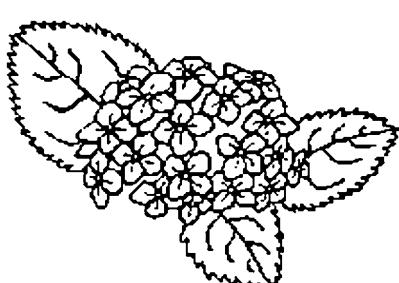
本定例会には市長から条例関係15件、予算案件16件、協議関係15件、その他3件の計49議案が、また、議員提案として政務調査費の改正案、会議規則の改正案など4件の議案も同時に提出されました。

開会初日、釜井市長は施政方針演説のなかで、将来に向けて市政発展の基盤をつくるため、次の点について重点的に取り組むことを表明しました。

1点目は、集中改革プランの取り組みの2年目であり、行財政改革を引き続き積極的に推進すること、2点目は吉富町との合併を全力を挙げ取り組むこと、3点目は高校跡地問題と中心市街地の整備を喫緊の課題として取り組むこと。また上町団地、区画整理事業などにより、定住促進策、商店街の活性化、老人、障害者に優しい街づくりを推進すること、4点目は京築広域圏の組合長として京築全体の浮揚をはかること、

以上、力強く述べました。

提出された議案の大部分は所管の常任委員会で慎重に審査され、本会議においてすべて原案どおり可決されました。



3月定例会の動き		3月6日	3月7～11日	3月12～13日	3月14日	3月15日	3月16日	3月19日	3月20日	本会議
討論	委員長報告	総務委員会	一般質問	考案日	討論	一部議案の質疑	市長の施政方針演説	総務委員会	産業建設委員会	文教厚生委員会

条例関係

■助役に代えて副市長！

■収入役を廃止し会計管理者者に！

地方自治法の一部改正により、関係条例を改正し、平成19年4月から変更されました。尚、収入役については任期まで継続されます。

■市役所内の機構改革！

社会情勢の変化に対応するために、見直しがなされました。

都市計画課と商工観光課を一つにまとめ、まちづくり課に、学校教育課と社会教育課と一緒にして、教育課になります。

市政活性課を総合政策課に変更し、人権課を、総務課に繰り入れ、収入役室を出納室に改め、環境課を生活環境課に、福祉事務所を、福祉課に名称を変更しました。

■少子化対策に配慮が！

「すこやか赤ちゃん出産祝金条例」は第3子から、祝い金20万円が支給されていますが、更に第2子に10万円が支給されるようになりました。

尚、祝金は市内商品券で支給されます。

■政務調査費制度の一部改正！

政務調査費の報告書に領収書を添付するように義務付け

られました。

■敬老祝金が改正！

75歳以上の高齢者全員への支給を改め、節目の年齢に対して、敬老祝金を次のように、支給するようになります。

① 77歳	7千円
② 88歳	1万円
③ 99歳	3万円
④ 100歳以上の者	3万円

■平成18年度豊前市公共下水道事業特別会計補正予算！

主なものは、公共下水道建設費を翌年度に繰り越して使用する34,000千円であります。

■平成18年度豊前市バス事業特別会計補正予算！

主なものは、一般会計からの繰入金、1,450千円であります。

■平成18年度豊前市水道事業会計補正予算！

主なものは、一般会計から

の繰入金、85,012千円であります。

■平成19年度豊前市一般会計補正予算！

豊前市・吉富町合併協議会負担金を1,000千円補正するものであります。

福岡県知事から豊前市・吉富町合併協議会の設置の勧告を受け、賛成多数により合併協議会を設置する事に致しました。

その他の

■豊前市・吉富町合併協議会の設置！

議案の詳しい内容について、お知りになりたい方は、議会事務局まで申し出ください。

予算関係

■平成18年度豊前市一般会計補正予算！

補正額は、50,658千円で、主な内容は、表1のとおりです。

表1 平成18年度一般会計補正予算の主な内容

内 容	補 正 額(万円)
退職手当	2億2,626
知的障害者援護支援費	△ 3,000
介護保険広域連合負担金	△ 3,326
児童措置費	△ 4,284
生活保護費国庫負担金返還金	2,082
豊前市水道事業会計補助金	8,501
活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金	△ 1,410
京築広域農道整理事業負担金	△ 1,218
県営農村活性化住環境整備事業負担金	△ 927
道路新設改良費	△ 7,000
上町団地建替事業	△ 4,600

表2 平成19年度特別会計当初予算

区 分	金 額(万円)	対前年度比(%)
特 別 会 計	国民健康保険事業	38億7,486
	老人保健	45億9,496
	住宅新築資金等貸付事業	2,876
	農業集落排水施設事業	3,725
	公共下水道事業	5億5,415
	公共用地先行取得事業	1,000
	豊前市営駐車場事業	850
	豊前市バス事業	3,658
	小 計	91億4,506
企 業 会 計	水 道 事 業	8億7,368
	東部地区工業用水道事業	1,790
	総 額	100億3,664
		1.4

平成 19 年度 一般会計当初予算 113億680万円

厳しい財政状況のなかで、行財政の徹底した簡素合理化、経費の効率化等を図りながらの予算執行が求められます。

平成 19 年度の主な事業

行財政の効率的運営



電算システム開発費
【30,460千円】

福祉の充実



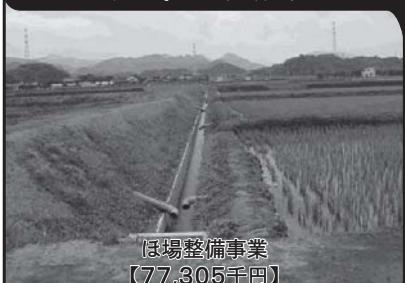
すこやか赤ちゃん出産祝金
【16,400千円】

住環境の整備



合併浄化槽設置補助金
【28,485千円】

産業の振興



ほ場整備事業
【77,305千円】

都市基盤の整備



上町団地建替事業
【486,000千円】

教育の振興



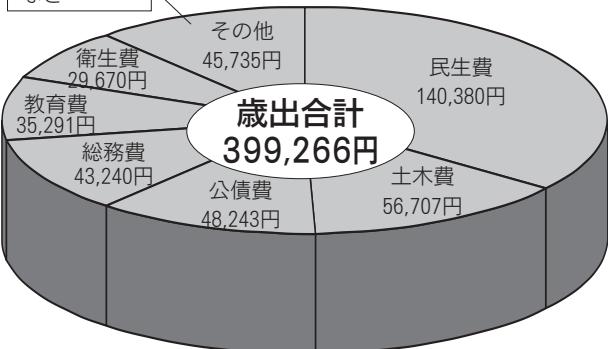
横武小屋内運動場建替事業
【177,200千円】

市民 1 人当たりに使われる金額

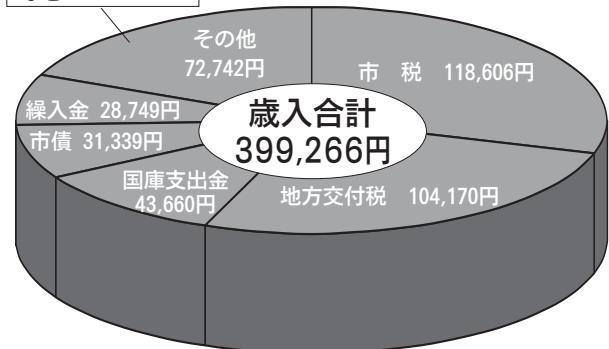
399,266 円

(人口 28,319人 19年4月1日現在)

農林水産業費
消防費
商工費
議会費
労働費
など



県支出し
分担金及び負担金
地方消費税交付金
使用料及び手数料
諸収入
など



その他主な事業

- ・市有林保育事業
- ・赤熊59号線道路改良事業
- ・林道(豊築松尾線)開設事業
- ・赤熊南土地区画整理事業
- ・八屋～求菩提線道路改良事業
- ・上町～沓川池線街路事業
- ・四郎丸～野田線道路改良事業
- ・消防自動車購入
- ・求菩提山史跡整備事業
- ・総合計画後期基本計画策定費
- ・後期高齢者医療制度関係費
- ・中山間地域直接支援事業

一般質問

3月定例会の一般質問では8名の議員が市政について質問をしました。質問と答弁の要旨については次のとおりです。

12日(月)		13日(火)	
質問者	質問事項	質問者	質問事項
古川哲也	1. 豊前市危機管理体制について 2. 商工業の進展について 3. 合併問題について	渡邊一	1. 吉富町との合併勧告を受けて 2. 教育基本法改正に豊前市の教育施策はいかに対応していくのか
尾家啓介	1. 豊前市財政と合併について	山本章一郎	1. 自動車生産拠点づくりについて ・工業用地は ・人材育成は ・労働力を外国人にたよることになるのか 2. 中山間地の活性化について ・高齢化、少子化の現況と対策は ・東九州道、開通後の影響と対策は
宮田精一	1. 障害者自立支援法について 2. 医療・福祉・社会保障問題 ～特に国保問題を中心に 3. 入札制度問題について 4. 市長の所信表明について	村田喜代子	1. 豊前市の活性化にむけて 2. 学校教育について 3. 子育て支援について
尾澤満治	1. 豊前市における農林業の振興について 2. 教育問題について		
爪丸裕和	1. 環境問題について 2. 民営化、民間委託の取り組みについて		



宇島駅前交番

議員 退職警官の再雇用により、
宇島駅前交番

1. 豊前市の危機管理体制について

議員 最近の火災で、2次出動のサイレンが鳴らず、携帯電話で消防団に出動要請があった。連絡体制はどうしているのかお伺いしたい。

総務課長 最近、大きな火災が発生、昨年は、不幸な死亡事故が発生した。このような教訓を活かして、被害を最小限にとどめる危機管理体制の確立は急務と考えている。

吉野プラスチックの火災は、分団すべての消防車が出動しており、また深夜でもあったため、団長と協議し、2次出動のサイレンの要請はしなかった。今後、サイレンの要請は、小・大規模火災にかかわらず、十分に連絡を取りながら実態に応じた対応をしていきたい。

古川議員の質問

1. 豊前市の危機管理体制について

空き交番を解消するとの、新聞報道があつたが、豊前市ではどうなるのかお伺いしたい。

総務課長 市内には駐在所が角

田・山田・合岩にあり、交番は、宇島駅前だけである。新聞報道されている空き交番はない。

議員 金属性難が続出しているが、警察署との連携等をどう考

えているのかお伺いしたい。

総務課長 全市でも1件発生し

たので、警察に取締りの強化をお願いした。また、昨年度から700件、当市でも1件発生し

青色パトロールカーを巡回させ監視を行っている。

議員 住民の生命、財産を守るのが、行政の最大の仕事である。連絡体制の充実・強化を徹底して頂きたい。

議員 東部工業団地が完売状態のなか、企業進出の問い合わせがあると聞く。工業団地をつくられる考えはあるのかお伺いしたい。

商工観光課長 企業誘致には、

民間の空き地や、空き工場等を紹介している。また、新たな工業用地確保のため、県に、工業団地の創設を要望している。

北部九州自動車150万台生産拠点構想で、関連企業の進出、また既存企業の増設等のニーズに応えるべく努力したい。

議員 中心市街地活性化の事業を進め、数年経過しているが空き店舗対策はどうなっているのか。

商工観光課長 19年度もTMO事業を中心とした商業強化事業として関係者と協議をして進めたい。

議員 「東八商店街活性化がんばろう会」を県、市の協力の基につくりあげ、東八市やフリーマーケットと、特産品の開発など多岐にわたり進めているが、今年度までと聞く、今後どのようになるのかお聞きしたい。

商工観光課長 この事業は2カ年間の補助事業であった。今後も各種事業展開が見込めるところから、関係者と協議したい。

商工観光課長 この事業は2カ年間の補助事業であった。今後も各種事業展開が見込めるところから、関係者と協議したい。

2. 商工業の進展について

議員 日本で最初の知事による勧告がなされ、豊前市も吉富町も、合併協議会の設置が可決された。今後、県との協議をどのようにしていくのかまた、合併協議会に対しどのように臨んでいくかお聞きしたい。

市長 県へ支援体制の一層の強化をお願いしたい。今後、合併協議には市民の代表である議会と一体となって臨みたい。

議員 合併協議会には、国から補助金はでるのか。

総務課長 特別交付税で費用の50%相当を措置して貰える。

尾家議員の質問

1. 豊前市財政と合併について

議員 合併実現に向け市長の決意をお聞きしたい。

市長 合併問題は、時代の趨勢で、議員の支援と、市民の共感を持って一日でも早く法定協議会を立ち上げ、その中で議論したい。

議員 国は算定方法を見直し、交付税を抑制しようとしているが、この数年豊前市における交付税の推移と今後の見通しについて伺いたい。

財務課長 対前年度で比較すると平成16年度が4億5753万1千円、平成17年度が、1億1407万円、平成18年度1億3649万1千円で、3カ年合計で約7億8000万円の減額となっている。

今後の市の財政計画では、平成19年度から21年度まで、毎年度5%ずつ減少することを見込んでいる。その額は約5億800万円である。

議員 交付税配分総額の10%を人口と面積を基本に算定する新規交付税、また算定項目が3割ほど減った事は、市にどのくらいの影響をあたえるか。

財務課長 平成18年度数値で試算した結果、2100万円の増となつた。

議員 団塊の世代の退職に伴い、退職手当債の発行が認められるが、なぜこれを活用しないのか。

総務課長 中で各種項目について議論したい。

議員 団塊の世代の退職に伴い、退職手当債の発行が認められるが、なぜこれを活用しないのか。

議員 合併のメリットは効果的、効率的な財政運営による経費の削減である。この特例期間中にこの5億円を節約しなければならない。したがって、一日も早い合併を望む。

財務課長 合併した県内を例にすれば、特例により平均13・6%上回っている。これを本市にすると、金額で約5億円多くなることになる。

なお、この特例期間は平成20年度までに合併すれば7年間、21年度の場合5年間である。

議員 住民税がフラット化になつたのではないのか。

財務課長 県から財源補填のある起債や基金の活用を先行させるべきと指導を受けた。平成19年度以降については改めて県と協議したい。

議員 基金は貯金として持つておくべきではないのか。

財務課長 県から財源補填のある起債や基金の活用を先行させるべきと指導を受けた。平成19年度以降については改めて県と協議したい。

議員 福祉事業所長 昨年実態調査を行い、市内の障害者団体とサービス事業者にヒアリングを行った。調査の結果を基に、委員会を設置し、障害者福祉計画を策定したい。

議員 福祉事務所長 身体障害者の要望は、所得の保障、医療費の軽減等。精神障害の方は、就業希望者が3割、就労意欲が強いと思われた。

議員 福祉事務所長 国もこの法律の問題を認め、新たな負担軽減策を出してきたがこの制度について説明願いたい。

議員 税務課長 国保加入世帯数は、19年2月末現在、6324世帯、滞納世帯が668世帯、資格証明書発行世帯は151世帯である。滞納額は、17年度決算で3億800万円である。悪質滞納者に対しても、滞納処分を強化し厳しく対応したい。

議員 政府は行財政改革等、頑張る自治体には交付税算定に有利に反映するとしているが…。

財務課長 「頑張る地方応援プログラム」により、やる気のある自治体へは特別交付税が3千万円を限度に措置される。また、頑張りの成果を普通交付税に反映させることにしている。

議員 1000万円以上の工事は入札件数が少ない。500万円以上に考えたらどうか。

助役 指名委員会等で十分論議して、検討している。

議員 1000万円以上の工事は入札件数が少ない。500万円以上に考えたらどうか。

助役 指名委員会等で十分論議して、検討している。

建設工事を、市内業者限定による一般競争入札を試行する方向で、検討している。

議員 1000万円以上の工事は入札件数が少ない。500万円以上に考えたらどうか。

助役 指名委員会等で十分論議して、検討している。

更なる軽減、・事業の安定運営のための激変緩和措置、・小規模作業所など新たなサービス体系へ移行するための緊急的な措置の3点があげられる。

議員 小規模作業所は、補助を受けられなくなるのか伺いたい。

福社事務所長 必要要件もあるが、2年間経過措置で補助を行いたい。

議員 福社事務所長 必要要件もあるが、2年間経過措置で補助を行いたい。

宮田議員の質問

1. 障害者自立支援法について

2. 医療、福祉、社会保障問題

議員 高すぎる保険料、非情な保険証の取り上げなど国民健康保険は土台を掘り崩す危機に陥っている。制裁強化が必ずしも徴収率の向上には繋がらない。繰入金等を増やし、国保料の値下げ、また、保険証の取り上げ中止を強く要望するが、豊前市ににおける滞納等の状況はどのようなになっているか伺いたい。

議員 どのような声があつたのかお聞きしたい。

議員 福祉事務所長 身体障害者の要望は、所得の保障、医療費の軽減等。精神障害の方は、就業希望者が3割、就労意欲が強いと思われた。

議員 税務課長 国保加入世帯数は、19年2月末現在、6324世帯、滞納世帯が668世帯、資格証明書発行世帯は151世帯である。滞納額は、17年度決算で3億800万円である。悪質滞納者に対しても、滞納処分を強化し厳しく対応したい。

議員 高すぎる保険料、非情な保険証の取り上げなど国民健康保険は土台を掘り崩す危機に陥っている。制裁強化が必ずしも徴収率の向上には繋がらない。繰入金等を増やし、国保料の値下げ、また、保険証の取り上げ中止を強く要望するが、豊前市ににおける滞納等の状況はどのようなになっているか伺いたい。

議員 福祉事務所長 身体障害者の要望は、所得の保障、医療費の軽減等。精神障害の方は、就業希望者が3割、就労意欲が強いと思われた。

議員 税務課長 国保加入世帯数は、19年2月末現在、6324世帯、滞納世帯が668世帯、資格証明書発行世帯は151世帯である。滞納額は、17年度決算で3億800万円である。悪質滞納者に対しても、滞納処分を強化し厳しく対応したい。



市立図書館

議員 税収アップの為多重債務対策の専門相談員を置くべきではないか。

商工観光課長 国の指針に従い検討したい。

議員 乳幼児医療費の就学前までの無料化を検討して頂きたい。市長 年齢を1歳引き上げると1000万円の負担増になるため、財政等と相談をしながら、検討したい。

3. 入札制度問題について

議員 入札改善、談合廃止で浮いた財源を福祉、教育に有効に使えるが、一般競争入札導入を再確認したい。

財務課長 6月から、1000万円以上の工事につき、市内業者限定による一般競争入札を実施できるよう検討している。

4. 市長の所信表明について

議員 所信表明の中で、市立

書館、向陽荘の民営化、高校跡地の利用を述べていたが、具体的にお聞きしたい。市長 図書館の運営は、NPOに任せ、北校跡地1階と2階を15万冊ぐらいの規模を考えている。向陽荘は、地区の主導による民営化を進めたい。中部高校跡地については統合中学校用地とすべく審議会の答申がなされた。

尾澤議員の質問

1. 豊前市における農林業の振興について

議員 山林の荒廃が進み、随所に影響を与えており、豊前市における現状と保全対策について伺いたい。

農林水産課長 近年の台風や集中豪雨により大きな被害を受けている。公有林については計画的に再造林等整備を行っているが、個人所有林については放置され、荒廃した山林が多い。

2. 教育問題について

議員 体験学習の取り組み、成果をお聞きしたい。

教育長 4つの中学校で5日間の職場体験学習に取り組み、209名が参加した。仕事の厳しさを知るとともに、感謝の気持

ちも生まれ、将来働く上で目標、適性に役立つと考えている。今後も継続していきたい。

議員 森林の荒廃によるイノシシ、シカによる農産物被害が出ている。早急に捕獲する必要があるが市の対策について伺いたい。

議員 初等中等教育において、NPO、企業等の民間の経験やアイデアを活用し、職業観の醸

成するが、今後、県など関係者と協議したい。

農林水産課長 一定の要件があるが、今後、箱わなは、狩猟免許を持たないと捕獲することができないと聞くが、誰でも使える特区申請は出来ないのか伺いたい。



農林水産課長 昨年の農産物被害は、約1500万円。有害鳥獣駆除は、獵友会に委託、銃器部会、わな部会の2本体制による捕獲活動を行い、被害防止に努めている。

議員 箱わなは、狩猟免許を持たないと捕獲することができないと聞くが、誰でも使える特区申請は出来ないのか伺いたい。

3. 食事問題について

議員 小・中学校における学校給食拠点方式導入するにあたり、事業を取り組んだ。議員、ご指導の件も参考にしながら来年度に向け検討したい。

教育長 18年度は、各種関係団体を入れ、実行委員会をつくり事業に取り組んだ。議員、ご指導の件も参考にしながら来年度に向け検討したい。

議員 小・中学校における学校給食拠点方式導入するにあたり、財政の効果、安全性の確保、質の内容、食育の重要性が具体化してない状況では導入は不可能と思うがどう考えているのかお聞きしたい。

教育長 データでの説明ができるだけの反省している。拠点方式は、長期的に見て効果があると考えている。

議員 今世紀は環境の世紀と言われているが、まず、市内の危険な空家件数とその対策について伺いたい。

環境課長 危険家屋については59件、把握している。うち11件については、解体及び改善がなされた。他の物件については、所有者の所在不明、所有権のトラブル等により解決に至っていない。

議員 今後とも関係機関と協議のうえ粘り強く解決に努めたい。

議員 公共水域の汚濁防止のため地域によつては合併浄化槽を推進し、設置補助金も出してい

食事のマナー等々を学ぶ場と位置づけている。

議員 最近、低体温の子どもが、増えている。原因の第1位は、朝食抜きの子どもが多いことである。食育は、素晴らしいものということを考えながらPTAと共に考えこの問題に取り組んで頂きたい。

教育長 「早寝、早起き、朝ごはん」という運動を全国的に展開している。今後もPTAと連携をとりながら食育について取り組んで行きたい。

議員 初等中等教育において、NPO、企業等の民間の経験やアイデアを活用し、職業観の醸

成を図る「地域自立民間活用型キャリア教育プロジェクト」事業があるが、活用したらどうか。議員 小・中学校における学校給食拠点方式導入するにあたり、財政の効果、安全性の確保、質の内容、食育の重要性が具体化してない状況では導入は不可能と思うがどう考えているのかお聞きしたい。

教育長 データでの説明ができるだけの反省している。拠点方式は、長期的に見て効果があると考えている。

議員 今世紀は環境の世紀と言われているが、まず、市内の危険な空家件数とその対策について伺いたい。

環境課長 危険家屋については59件、把握している。うち11件については、解体及び改善がなされた。他の物件については、所有者の所在不明、所有権のトラブル等により解決に至っていない。

議員 今後とも関係機関と協議のうえ粘り強く解決に努めたい。

議員 公共水域の汚濁防止のため地域によつては合併浄化槽を推進し、設置補助金も出してい

るが、その維持管理がしっかりと履行されているかお聞きしたい。

環境課長 設置後は法律により水質検査等、適正に管理するよう義務づけられている。

議員 設置補助申請に際し、専門業者へ管理委託する誓約書が入っていると思うが、保守点検は正しくされているのか。

環境課長 法令的には4カ月に1回以上行なうことが義務付けられているが、個人と業者の契約により点検回数の違いはある。

市としては、排水基準等満たさない場合は別として、点検回数の不履行等は当時者間の契約問題と考えている。

議員 「水質検査をクリアすれば市は関係ないよ」では如何なものか。補助金を出している以上、業者だけの問題でなく、市も管理責任をしっかりと取るべきではないのか。

助役 検査報告書の中に点検回数等を明記できるのか所管課と協議したい。

2. 民営化、民間委託の取り組みについて

議員 集中改革プランにより、公共施設の民営化等の取り組みを検討していると思うが、次の一

点について伺いたい。
老人ホーム「向陽荘」の状況

について、また、民営化のメリット、デメリットについて伺いたい。

市長 旧角田村からの施設であり、区長会と相談しながら、地域主導による民営化を実施したい。

福祉事務所長 メリットとしては赤字の解消、デメリットとして災害時等、必要に応じ独居老人等の収容が今までどおり可能となるか等である。

議員 人件費の削減、雇用の創出は大きな問題であるが、経営は大丈夫か。

市長 社会福祉法人の許可を持つ専門家になろうと思っている。民営化とはいえ、社会的責任は市が引き継いで行ないたい。

議員 ごみ収集の民営化についてはどうか。中津市は数年前に取り組んでおり、サービスは向上したと聞くが…。

環境課長 今までどおり直営で行ないたい。なお、収集体制の見直し等を行い、対前年度1500万円の節減を図りたい。

助役 検査報告書の中に点検回数等を明記できるのか所管課と協議したい。



ごみ収集

議員 努力は評価するが、将来を見据えた検討を続けていただきたい。次に学校給食の民間委託について伺いたい。

学校教育課長 衛生検査、栄養価の計算、価格設定、安全な資材の納入など、種々の規制があり、民間委託で収益をあげるとなると給食代に影響する。(市當だと人件費、光熱水費は給食代に含まれていない)

議員 人件費削減のため真剣に取り組まなければならぬ。検討課題とさせていただきたい。

助役 この問題は経費削減のこと強く求める。

議員 業者への委託ではなく、地域住民や保護者の方などへ任せれば、質の低下も防げ、高い職員給与も削減できるのではないか。

学校教育課長 欠員不補充、経費の削減に努めているが、この問題は行政全体の問題として検討する必要がある。

議員 図書館の民営化と水道事業の民営化について伺いたい。

市長 図書館についてはNPO法人化、または、嘱託職員化等あらゆる可能性を検討したい。

社会教育課長 経費削減に努めているが、2,000万円程度見込めるのではないかと考えている。

議員 上下水道業務等一部を委託している。今後も民間に委託できるものは、民間に委託し経費の節減を図りたい。

議員 一部の業務委託ではなく、公営企業自体を民営化の方向で検討する考えはないのか。改正により第三者委託が可能となつたが…。

伊良原ダムからの受水が始まれば、赤字は更に、年間5000万円ほど膨らむと考えられる。安易な料金値上げはできない。あらゆる課題を克服し、この赤字会計の健全化に努めていたただくことを強く求める。

助役 この問題は経費削減のため真剣に取り組まなければならぬ。検討課題とさせていただきたい。

議員 豊前市と吉富町の合併について、福岡県知事から勧告を受けたわけだが、市長のコメントの中で、いろんな角度から議論したいとあったが、具体的に説明を聞きたい。

市長 大変重く厳しい状況で、先生方も萎縮する状況かなと思う。

議員 筑前町におけるいじめ事件で、関係教員が処分された。教育委員会が問題となつて今日、いじめ問題で処分を下したことは初めてである。

議員 豊前市と吉富町の合併について、福岡県知事から勧告を受けたわけだが、市長のコメントの中で、いろんな角度から議論したいとあったが、具体的に説明を聞きたい。

市長 4点あるとを考えている。一点目は財政問題。全国どこも厳しい財政状況であるが、両市町の財政を分析し、とことん議論したい。二点目は両市町の

おかれた地理的位置である。今まで県内で日の当たらない地域と言っていた。自動車産業で大きく変貌しているなか、吉富町と福岡県と3者で腕を組み、地域の発展につなげたい。三点目は共同事業。現在、吉富町と13の事業を共同で行なっている。このことも議論したい。四点目は合併新法による対策。これをどのように利用できるか。お互いの町の発展に繋がるよう議論したい。

うが、ある面は、一つの区切りかなと考へてゐる。行政として逃げることなく、子供たちのため、いじめ問題に向かいたい。
議員 昨年末、改正教育基本法が成立し、安倍内閣は教育再生会議を立ち上げた。
その中で、ゆとり教育の見直し、荒れた学校の再生、教育委員会のあり方、教員免許の更新等々の審議が行われ、答申も出された。教育現場の第一線にいる教育長として、それらについてどのように考えるのか伺いたい。

教育長 中央教育審議会において、教育職員免許法、地方教育行政法、学校教育法の3法の改正案が出され、国会で議論されているが、市の教育委員会では改正されれば、法に従い諸施策を実行したい。

先般、問題行動を起こす児童・生徒に対する指導通知があつた。生徒指導のあり方、出席停止制度、懲戒体罰についてのあたらしい見解などであるが、生徒が安心して学べる、規律ある学校づくりに全力で取り組みたい。

議員 校内の荒れが中学校から低学年化になつてゐるが、市内の現状を説明願いたい。

また、県内で行われた学力調査の結果をお聞きしたい。

学校教育課長 市内の小・中学校での荒れの報告は受けていない

東部工業団地入口

山本議員の質問

い。学力調査については、小学校は標準、中学校についてはや上位である。来年から県下統一試験は廃止されるが、全国学力状況調査に参加したい。

商工観光課長 東部工業団地造成に県、市、合わせ59億円の費用がかかる。団地創設については、高いリスクを伴うため10ヘクタール程度かなと考えている。

議員 団地の必要性とともに、人材の育成も欠かせない。職業訓練センター、青豊高校等への支援、協力をお願いしたい。

助役 市もセンターに各種技能講座の導入をお願いしている。

教育長 また、センターも運営費が補助対象になるよう要望している。

議員 教育長、青豊高校には工業科はないが、県教委への要請も考えたい。

学校教育課長 市内から青豊高校への進学はかなりあり、連携をとりながら、就労支援について全力で取り組みたい。

議員 市内で働く外国人労働者の状況はどうになっているのか。

市長 友好都市の中国、通山県からの方が現在2名いる。この交流は今後も続けたい。

商工観光課長 市内企業に調査した結果、53名が就労している。

2. 中山間地の活性化について

財務課長 平成17年度の国勢調査数値で、高齢化率については、合河地区が41・6%岩屋地区が39・4%で、いずれも前回の調査を上回っている。

議員 小学生の数では合河地区が63名、岩屋地区が44名と10年前と比較すると半減している。

議員 村がなくなる地域も予感されるが、中山間地の活性化策をお聞かせ願いたい。

市長 地方と都市部の格差が一層拡大することが懸念される。このような状況下、豊な自然、景観、歴史、またそこで生産される農林作物などを積極的に利活用し都市部との交流を図りたい。道の駅、ト仙の郷など多くのお客様で賑わっている。もう一工夫して頑張りたい。

議員 東九州道の完成が地域活性化に影響をもたらすと思うが、盛土工法により集落が分断される恐れがあるが。

都市計画課長 具体的な構造は示されていないが、平野部では盛土は避けられないのご理解いただきたい。できるだけ集落が環境に配慮するよう努力したい。

高速道は単に目的地に早く着けばよいものではない。それを契機に地域が活性化することが一番と考えている。府内のワーキンググループで振興策を検討している。

村田喜代子議員の質問

1. 豊前市の活性化にむけて

議員 市長は市政運営にあたり職員の意識改革を図ると述べたが、具体的にお聞きしたい。

市長 都市間競争に負けないためには、活力ある人材の育成が必要である。

議員 今までの現状維持、縄張り根性でなく、コスト意識、未来志向、現状打破、実行力のある、そのような職員を育てたい。

議員 駅は市の玄関であり、駅及び周辺を整備することで、豊前市を内外にアピールすることが大事だと考えている。そこでまず、駅にエレベーターを設置できないのかお聞きしたい。

財務課長 JR九州では順次バリアフリー化をすすめているが、一日の利用者が5千人以上ないと、設置は難しい。宇島駅は一日約3千5百人の利用で、対象外となっているが、設置に向け働きかけをしたい。

議員 市内には3つの駅があるが商店街を含めた周辺の整備状況をどのように考えているのか。

商工観光課長 商業の方々も頑張っており、空き店舗対策等手を取り合い努力したい。「歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり」、そのことが駅から商店街へと流れを作ると考えている。

村田喜代子議員の質問

1

財務課長	駅周辺に駐車場、駐輪場を設け、また、関係機関に働きかけ列車運行回数の増便ができた。利便性の向上、利用客の増加を図ることにより、活性化を図りたい。
議員	高速道インター予定地周辺の整備についての考え方をお聞きしたい。

都市計画課長	この付近は豊前の新しい顔づくりゾーンとして考へていて。各種産業が展開できる用地の確保など長期的視点に立った計画をたてたい。
本市は山あり、海あり、平野あり、様々な可能性を秘めており、関係機関一体となり、地域振興を図りたい。	本市は山あり、海あり、平野あり、様々な可能性を秘めており、関係機関一体となり、地域振興を図りたい。
2. 学校教育について	3. 子育て支援について
議員	学校給食を親子方式に変更しようとした経緯について伺いたい。

学校教育課長	行革推進の中、各種事務事業の見直しで、検討課題となつた。
議員	学校給食を親子方式に変更しようとした経緯について伺いたい。
福祉事務所長	対象児が132名で、この保育料が約3千万円。国が徴収基準外の軽減にかかる市負担約6千5百万円。これに保育所運営費の市負担分1億1千6百万円を加えると2億円を超えることになり、現状では無料化は厳しいと考えている。
議員	少人数の小学校では学童保育の基準10人に満たない。なかにか対策は講じられないか。

福祉事務所長	国の補助基準等により実施しており、本件についても市単独での設置は厳しいと考えている。
議員	教育委員会の説明不足をお詫びしたい。現在、吉富町との合併問題があり、この問題は当面、棚上げにしたい。

議会しまを傍聴しよう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。6月の定例会の一般質問は6月8日(金)、11日(月)の予定です。

会議録 閲覧のおしらせ

議会だよりの内容は、議会の様子を要約したものです。

議会の詳細を知りたい方は、総務課・議会事務局にある会議録をご覧ください。

また、豊前市ホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

6月議会の日程表（予定）		
1日(金)	本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明
2~7日	休会	考案日
8日(金)	一般質問	午前10時~
11日(月)	一般質問	午前10時~
12日(火)	常任委員会	
13日(水)	常任委員会	
14日(木)	常任委員会	
15日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決
18日(月)	本会議	予備日

委員会編集委員会
委員長 副委員長 委員長
尾山 古宮 村
澤崎 川田 田
満廣 哲精 喜代子
治美也一

(ふるかわ てつや)
が来る:
自然の力は美しくもあり、悲惨なものもある。田植え時期を迎えて、今年は何事もなく収穫の時期を待ちたいものである。いよいよ梅雨が来る:

編集後記